

報告の概要について

1. 事案発生までの経緯と発生後の対応

- (1) 発生日時 2019年3月5日(火) 22時頃(晴れ)
- (2) 発生箇所 川辺川第一発電所取水堰
(熊本県球磨郡五木村)
- (3) 発生内容 ゴム堰の異常倒伏に伴う誤放流
- (4) 経緯



- 3/5(火) 8:15～ ゴム堰機器点検開始(ブロワ点検弁「閉」→「開」操作実施)
- 17:50 当日の点検作業終了、退場(ブロワ点検弁「開」のまま)
- 22:01 ゴム堰倒伏開始
- 22:34 ゴム堰完全倒伏
- ・倒伏開始確認後、関係機関への通知、サイレン吹鳴、河川パトロール(夜間:1回目、河川内工事箇所の浸水を確認)を実施
- 3/6(水) 7:20～ 河川パトロール(翌朝:2回目)実施

2. 発生後の状況

- 事案発生後、下流への影響、被害状況を確認した結果、人命や護岸などの施設への被害は特になし

- ・ ゴム堰から約12km下流の四浦水位観測所(熊本県球磨郡相良村大字四浦)において、20分間で最大1m程度水位が上昇
- ・ ゴム堰から約17km下流の河川内工事箇所(相良村発注工事)において、仮締切内の浸水、汚濁防止膜の破損、高圧洗浄機の浸水故障が発生

3. 発生後の関係機関への通知

- ゴム堰倒伏開始確認後、速やかに関係機関へ「ゴム堰からの放流開始、及び今後下流河川の水位が上昇すること」について、電話及びFAXにて通知

4. 発生原因、課題及び再発防止策

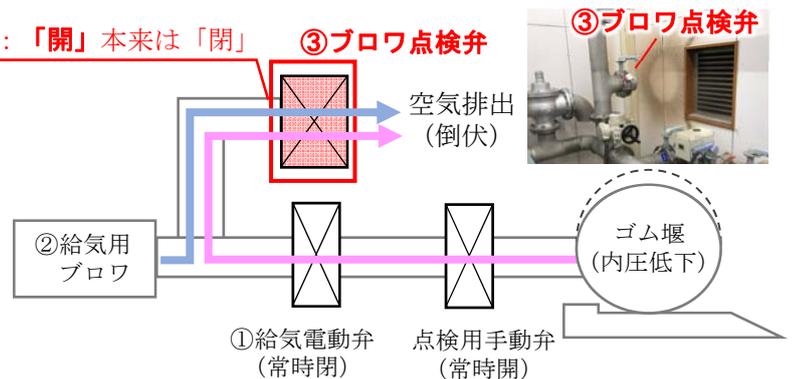
- 本事案は、点検終了時にブロワ点検弁を閉め忘れていたことで発生した。

ゴム堰異常倒伏のメカニズム

(右図参照)

- I 気温の低下に伴い、ゴム堰の内圧が低下
- II ①給気電動弁全開(自動)後、②給気用ブロワ運転を開始し、自動給気
- III ③ブロワ点検弁が全開だったため、給気及びゴム堰内の空気が③ブロワ点検弁から排出され、倒伏

状態: 「開」本来は「閉」



発生原因、課題	再発防止策
発生原因 <ul style="list-style-type: none"> ○ 作業チェックシートの不備 ○ 作業完了後の状態確認が不十分 ○ ゴム堰の機構・仕様に関する認識不足 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業チェックシートの見直し ○ 作業前後の確認の徹底 ○ ゴム堰に関する教育の徹底
課題 <ul style="list-style-type: none"> ○ 危機発生時の対応 ○ 河川管理者や流域関係者への第一報後の報告・連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危機発生時の対応マニュアルの整備 ○ 河川管理者や流域関係者への適時適切な報告・連絡